

有斐斎弘道館の歳末恒例企画

忠臣蔵 講談 × 茶

討ち入りの日、吉良邸では茶会がひらかれていました。

吉良上野介は茶道一流の家元でしたが、大石内蔵助も茶人、大高源吾も茶人――

忠臣蔵を知らずして日本文化を語るなかれ。講談を聴かずして歳を越すなかれ。ほろり涙しながら、一碗のお茶をしみじみあじわうひととき。

旭堂南青

義士銘々傳 堀部弥兵衛

軒の棟木に降り積もる雪の明かりは味方の松明…義士最高齢の堀部弥兵衛が命を懸けて仇討！



2017年

12月10日(日)

11時の部 / 13時の部

料金 3,500円 (茶菓子付)

会場 有斐斎 弘道館

京都市上京区元土御門町524-1

申込み 075-441-6662

kouza@kodo-kan.com

旭堂南青 (きょくどうなんせい)

1980年兵庫県生まれ。上方講談師、近畿大学文学部卒。2004年に旭堂南左衛門に弟子入り、南青となる。NHK、奈良テレビなど出演多数。高校での教育活動や、2014年フランスパリにてフランス語南京玉簾で好評を得るなど、多彩に活躍する。現代ももっとも注目されている若手講談師である。

背景画・ゴトウ千香子(歌舞伎仮名手本忠臣蔵 十一 殺目)出陣を伝える山鹿流の太鼓がきこえる雪の間